
2015年3月期 第1四半期 決算説明

株式会社キトー（東証1部：6409）

<http://kito.com/jp/>

2014年8月8日

7月23日の適時開示について

米国チェーン・チェーン製品大手 PEERLESS社株式 を取得予定

- ホイストの最重要部品であるチェーンの製造機能の強化
- 吊り具など、ホイスト周辺のチェーン製品の品揃えを拡充

1株→2株 に 株式分割

- ・9月30日 基準日、10月1日 効力発生
- ・投資単位を引き下げ、流動性向上をはかる

2015年3月期 第1四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

参考資料

市場環境

日本

昨年下期から回復基調が継続、受注堅調、消費増税の影響は限定的

米州

米国は全般的な回復基調が持続、カナダの受注減を補う

中国

景気が減速基調から脱しないなか、前年並みの実績を確保

アジア

需要は堅調だが、不安定な情勢が影響し、新規投資案件に遅れ

業績

前年比増収も、経費増により減益

売上高

- 米州、アジアの売上拡大(為替含む)が全体業績を牽引
- 前期比 約433百万円(+5.4%)増収

営業利益

- 国内人件費、アジア(新工場稼働による人件費)など増加
- 前期比 $\Delta 80$ 百万円($\Delta 22.3\%$)減益

純利益

- 前期比 $\Delta 161$ 百万円($\Delta 70.0\%$)の減益

新規の取組み

- 日本市場で電気チェーンブロックの新製品導入
- 北米で、一部の製品の生産を開始
- 韓国(4月)、タイ(7月)の新クレーン工場が本格稼働

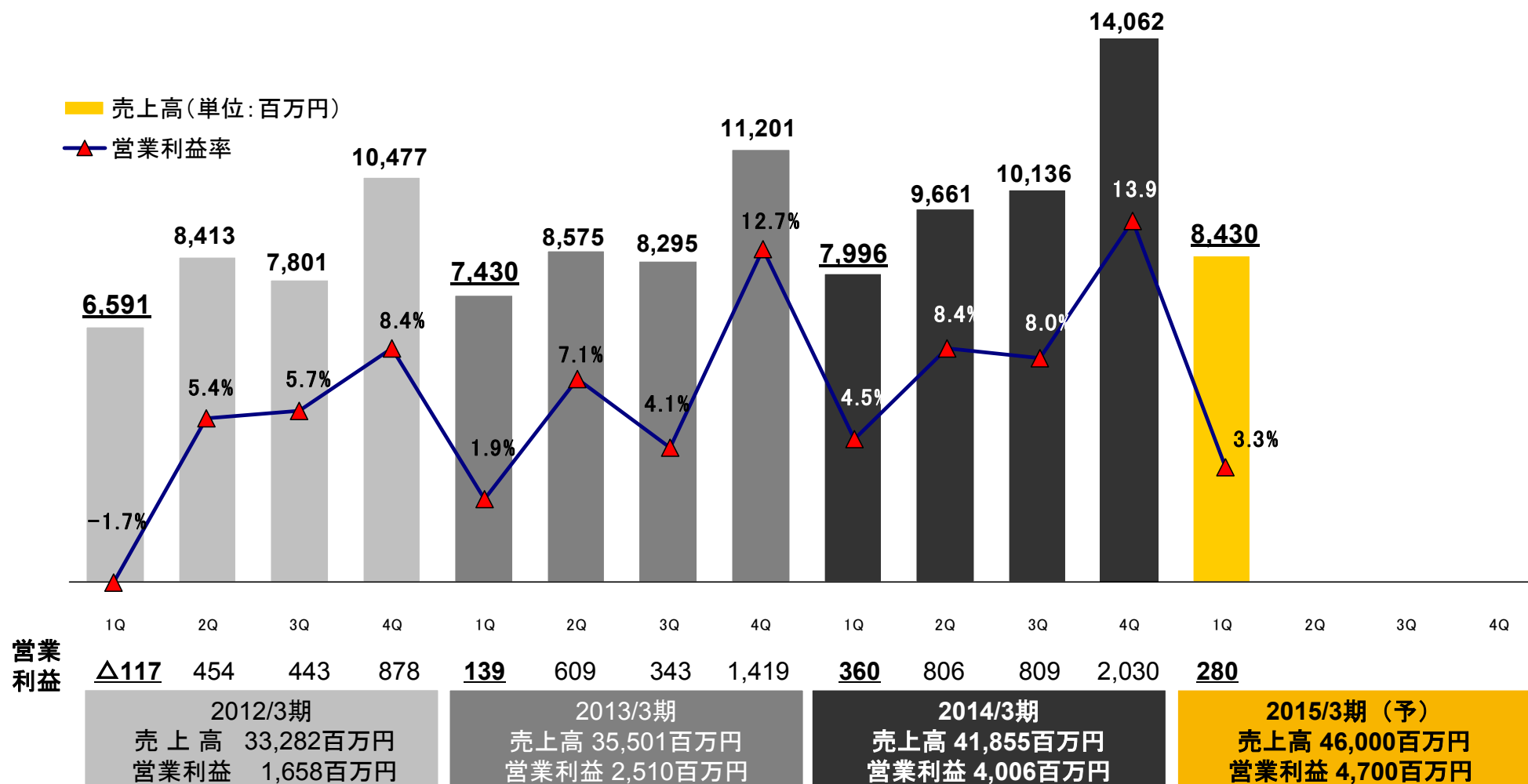
2015年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位：百万円)	2014/3期 1Q			2015/3期 1Q		
		対売上	前年 同期比		対売上	前年 同期比
売上高	7,996	100.0%	7.6%	8,430	100.0%	5.4%
営業利益	360	4.5%	158.3%	280	3.3%	△ 22.3%
経常利益	420	5.3%	-	226	2.7%	△ 46.2%
当期純利益	230	2.9%	-	69	0.8%	△ 70.0%

注 為替レート(2014/3期1Q→2015/3期1Q) : USD 98.8円 → **102.2円** CAD 96.5円 → **93.7円** EUR 129.0円 → **140.1円** RMB 14.8円 → **16.9円**

売上高および営業利益率(四半期比較)

前年同期比で増収も、国内、アジアでの人件費増など影響し 減収



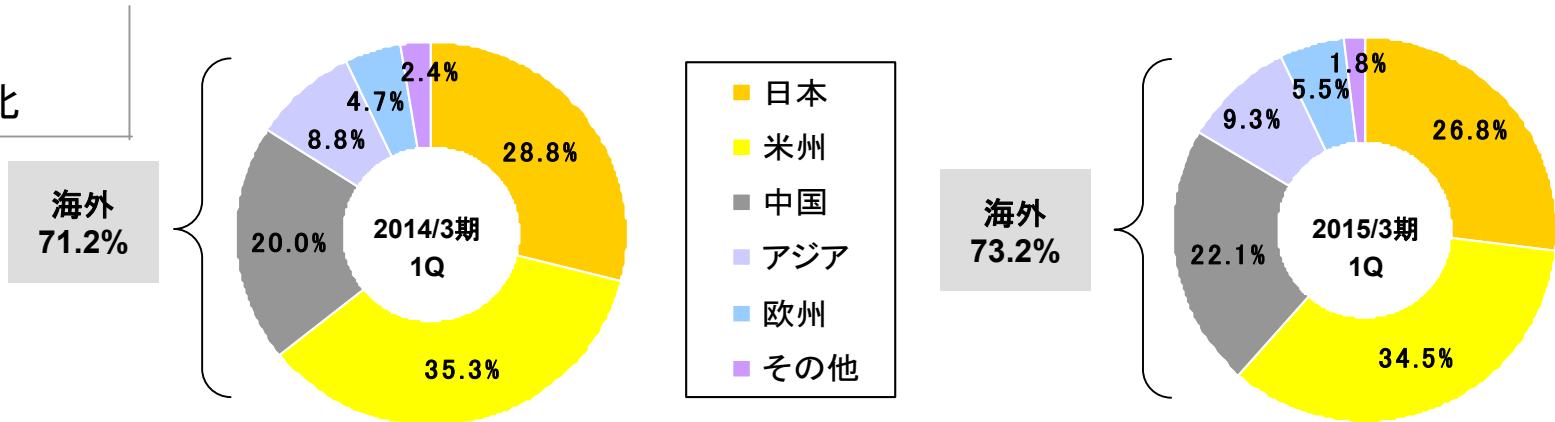
地域別の状況

海外売上比率が73%、グローバルに分散の効いた事業ポートフォリオ

(単位:百万円)	2013/3期 1Q		2014/3期 1Q		2015/3期 1Q		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	7,430	100.0%	7,996	100.0%	8,430	100.0%	433	5.4%
日本	2,460	33.1%	2,306	28.8%	2,256	26.8%	△49	△2.2%
米州	2,326	31.3%	2,822	35.3%	2,910	34.5%	87	3.1%
中国	1,528	20.6%	1,595	20.0%	1,862	22.1%	267	16.8%
アジア	611	8.2%	702	8.8%	782	9.3%	80	11.5%
欧州	335	4.5%	379	4.8%	466	5.5%	86	22.8%
その他地域	167	2.3%	190	2.4%	151	1.8%	△38	△20.4%

注 為替レート(2014/3期1Q→2015/3期1Q) : USD 98.8円 → **102.2円** CAD 96.5円 → **93.7円** EUR 129.0円 → **140.1円** RMB 14.8円 → **16.9円**

地域別 売上高構成比

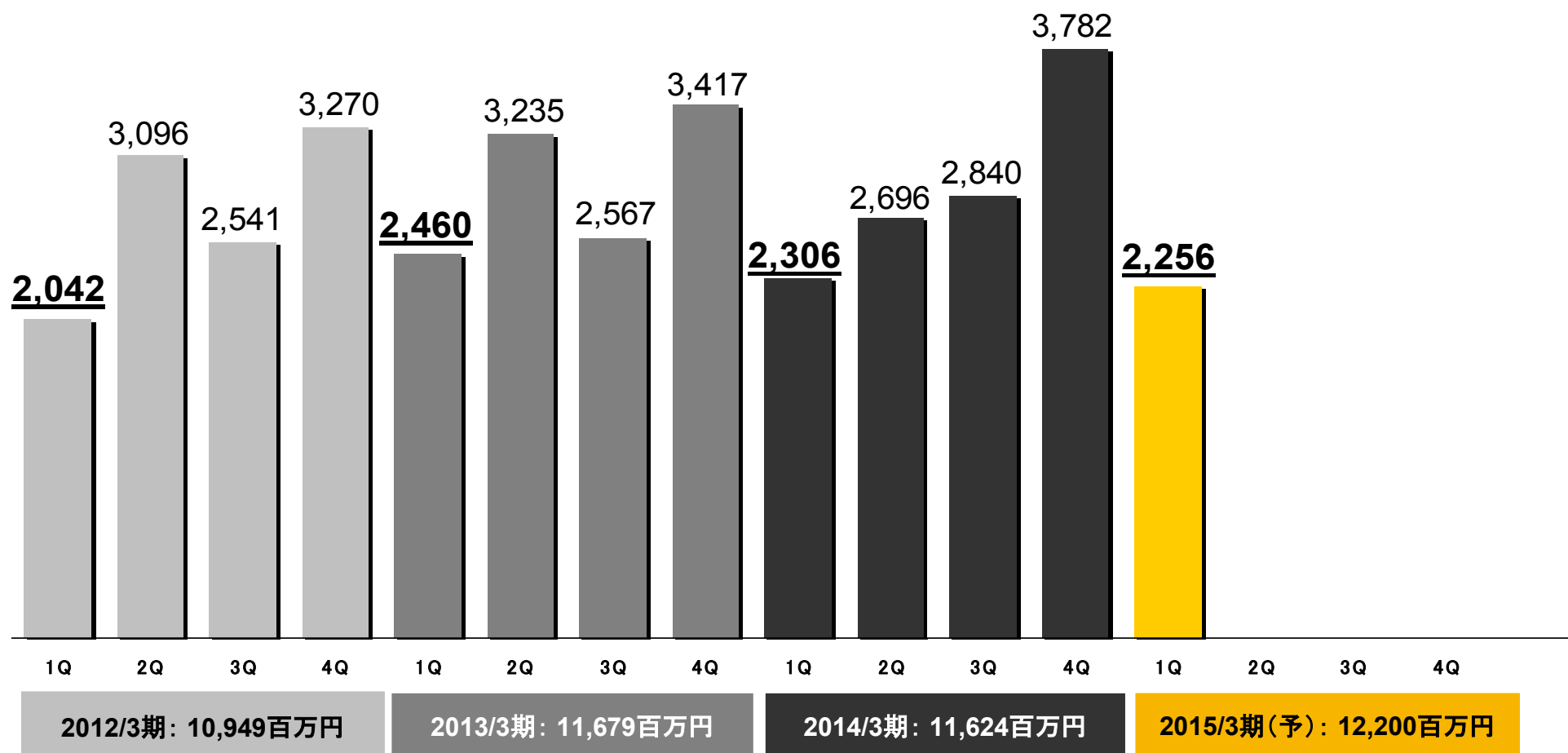


地域別売上高(日本)

●消費税増税の影響も限定的、昨年並みの売上を確保

(単位:百万円)

●建築土木とインフラ整備向けに、需要は底堅く推移し、受注も増加

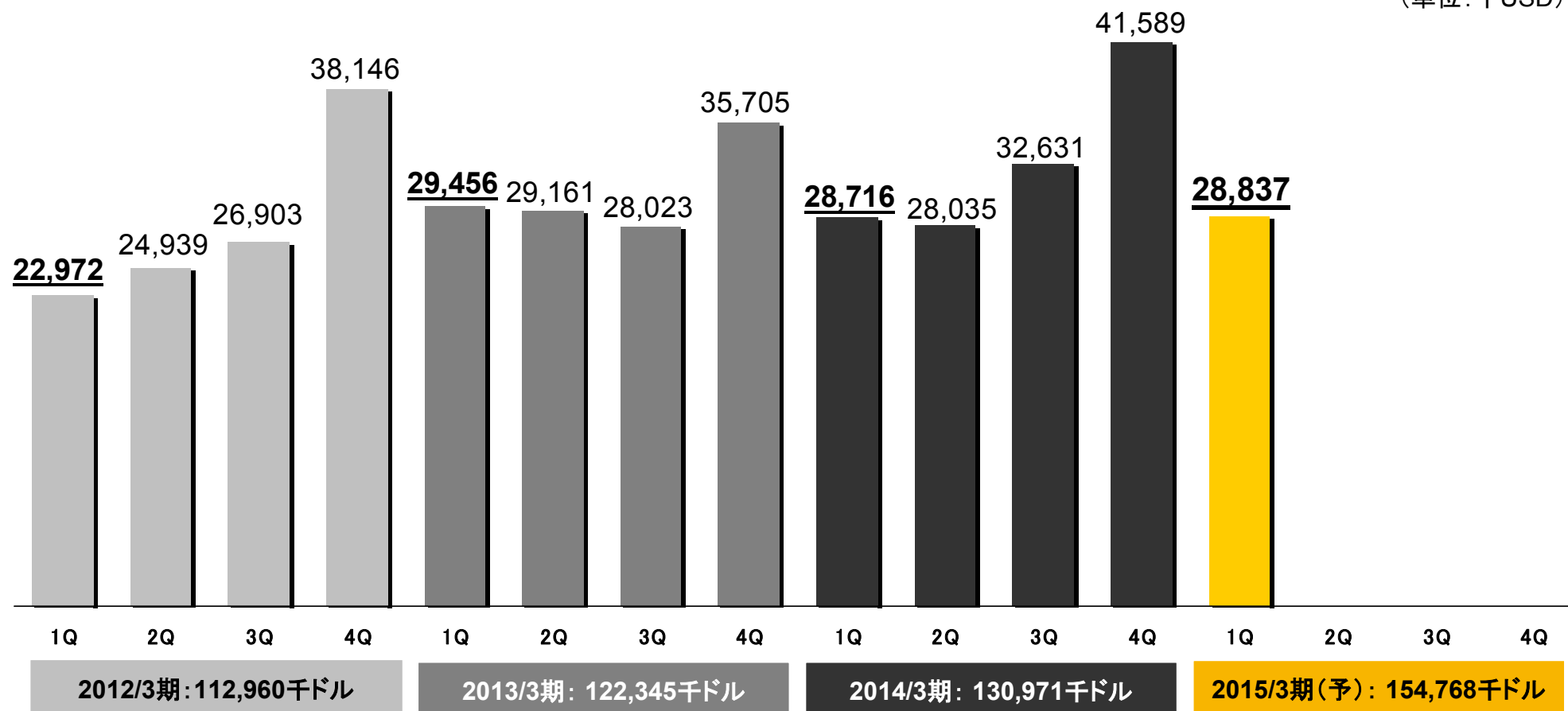


地域別売上高(米州)

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高(千ドル換算)を加算した金額の推移

- 米国は製造業ほか幅広い産業向けに、需要が堅調に推移
- カナダは、主力のエネルギー向け受注が落ち込むも、夏以降に回復の見込み
- 北米全体では、現地通貨ベースでほぼ前年比並み

(単位:千USD)

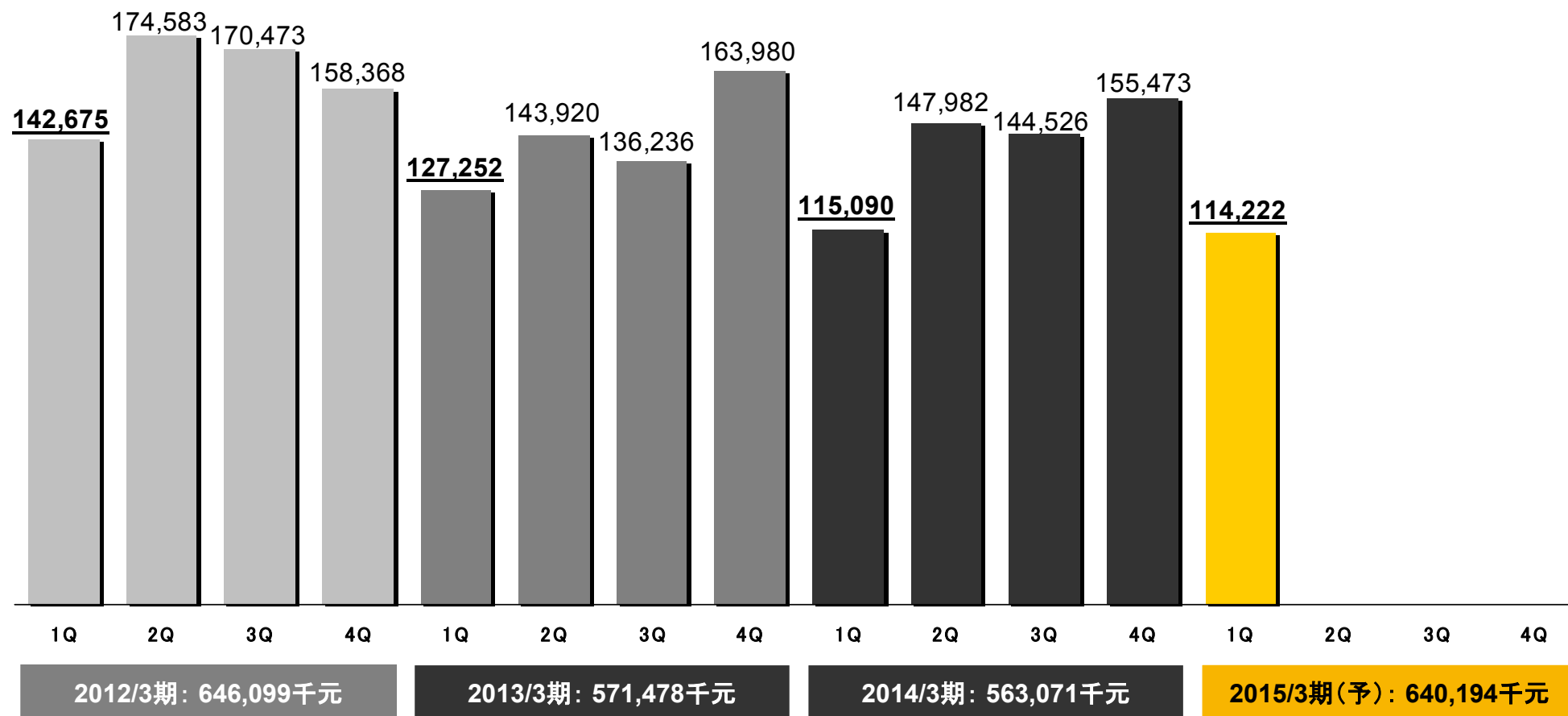


地域別売上高(中国)

※中国は1-12月決算

- 景気回復の足取りは重く、明確な回復感に至らないなか、需要は安定的に継続
- 現地通貨ベースで、ほぼ前年並みを確保

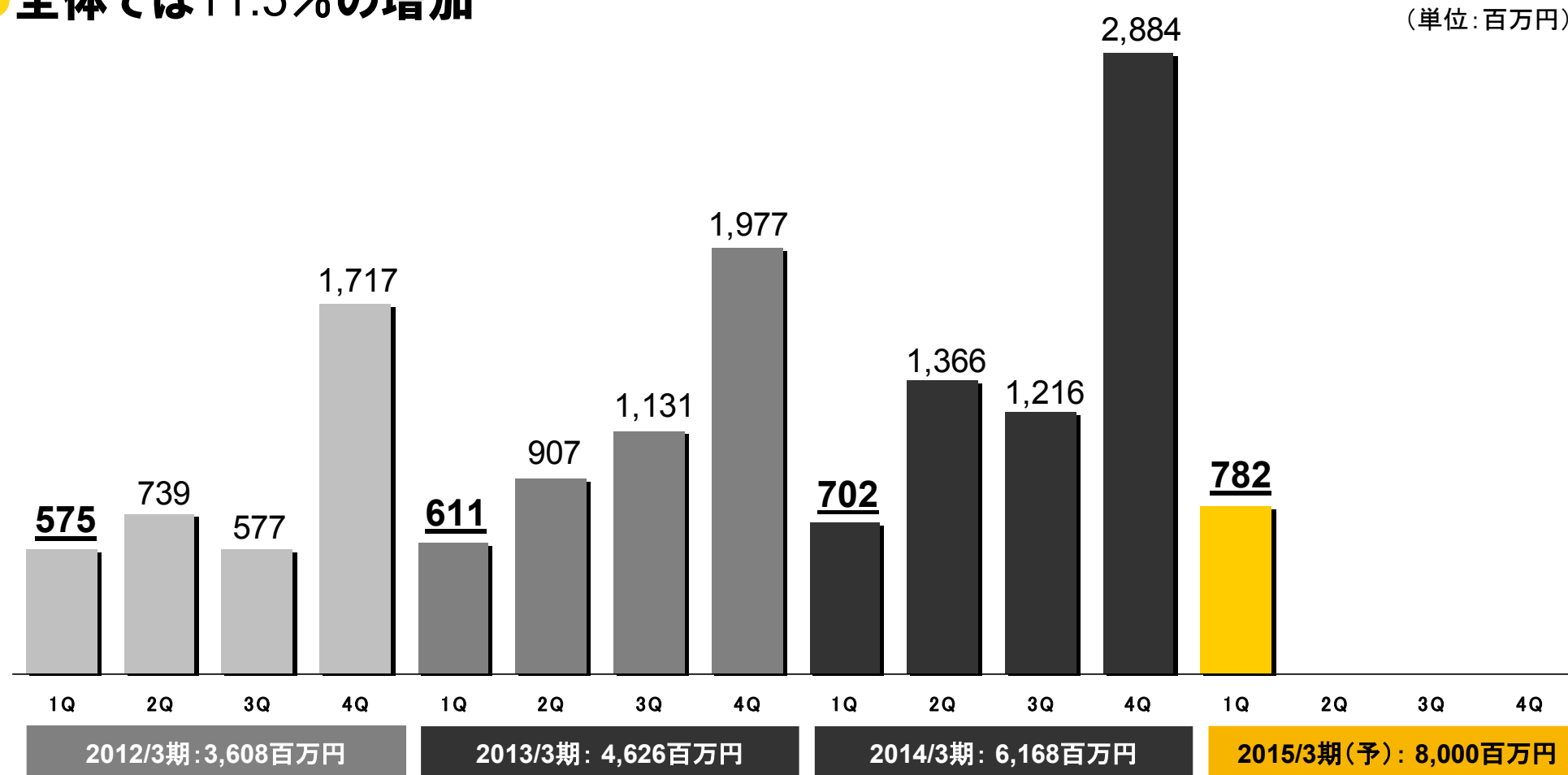
(単位:千RMB)



地域別売上高(アジア)

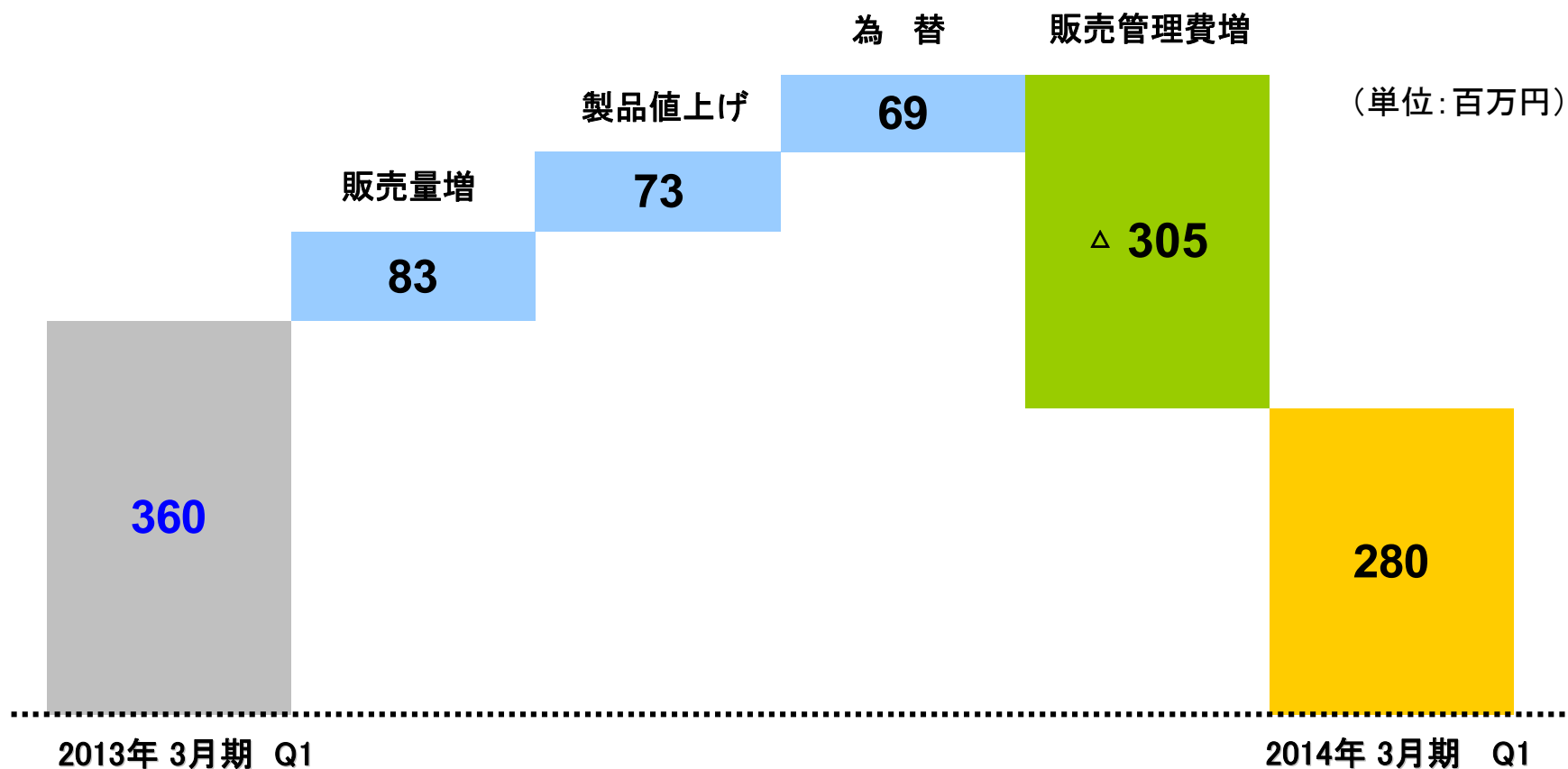
※タイ、韓国は1-12月決算

- マクロ経済、政情など不安定要素あり、タイでは新規投資に遅れが出るなどの影響
- インドネシア、インドでは、クレーン受注が順調、前年度比で増加
- 全体では11.5%の増加



営業利益の比較

前年同期比 80百万円の減益。国内・海外の人件費増加が影響。



2015年3月期 第1四半期 連結貸借対照表

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 1Q	増減額
流動資産	27,920	26,349	△1,571
現金・預金	6,230	5,887	△343
受取手形及び売掛金	9,414	7,135	△2,278
たな卸資産	10,327	11,382	1,055
その他	1,948	1,944	△3
固定資産	13,181	12,109	△1,072
有形固定資産	10,003	9,385	△618
無形固定資産	1,194	1,155	△39
投資その他資産	1,982	1,568	△414
繰延資産	5	4	△1
資産合計	41,108	38,463	△2,644

単位:百万円 (百万円以下切捨て)	2014/3期 期末	2015/3期 1Q	増減額
流動負債	12,528	11,976	△551
支払手形及び買掛金	5,249	5,360	111
短期借入金	2,621	2,323	△298
その他	4,657	4,292	△364
固定負債	6,576	4,605	△1,970
社債	1,000	-	△1,000
長期借入金	2,805	2,640	△164
その他	2,771	1,965	△805
純資産合計	22,003	21,881	△122
負債純資産合計	41,108	38,463	△2,644

2015年3月期 第1四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

参考資料

2015年3月期の見通し

日 本



市場環境

- 消費税増税の影響は限定的、前年度からの景気回復基調が持続
- 復興需要とインフラ整備、民間設備投資の高まりに期待

取り組み

- ロープホイスト販売に注力、クレーンビルダーなどの販路拡大
- 新流通制度スタート

米 州



市場環境

- 米国は製造業を中心に需要が堅調に推移
- メキシコ他、中南米に関しては引き続き需要拡大を見込む

取り組み

- コンサートホイスト、ワイヤーロープなど新製品の品揃え拡充
- 一部製品の現地生産化の拡大によりサプライチェーン最適化

中 国



市場環境

- 明確な景気回復感に至らず、不透明
- 東北・内陸部での潜在需要あり
- 自動車向けは需要底堅いも、競争激化

取り組み

- 東北・内陸地域における販路拡大を継続

ア ジ ア



市場環境

- タイ、インドネシアでの日系企業の需要継続
- タイでは、新規投資案件の遅れなど
- 引き続き地域のマクロ情勢の見極めが必要

取り組み

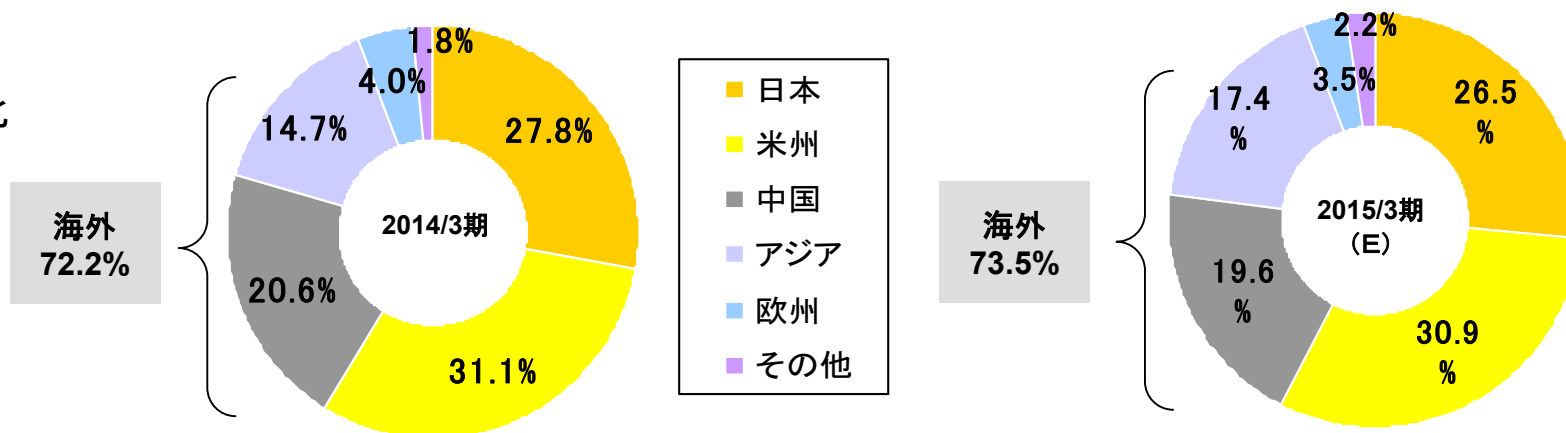
- 需要拡大に合わせた体制の強化
- 新工場（タイ・韓国）稼働によるクレーン事業の強化・拡大

2015年3月期 業績予想(地域別)

(単位:百万円)	2014/3期		2015/3期(E)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	41,855	100.0%	46,000	100.0%	4,145	9.9%
日本	11,624	27.8%	12,200	26.5%	575	4.9%
米州	13,034	31.1%	14,200	30.9%	1,166	8.9%
中国	8,603	20.6%	9,000	19.6%	396	4.6%
アジア	6,168	14.7%	8,000	17.4%	1,832	29.7%
欧州	1,665	4.0%	1,600	3.5%	△ 65	△ 3.9%
その他地域	759	1.8%	1,000	2.2%	241	31.8%

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→95.0円 CAD 95.1円→95.0円 EUR 134.4円→120.0円 RMB 15.9円→15.5円

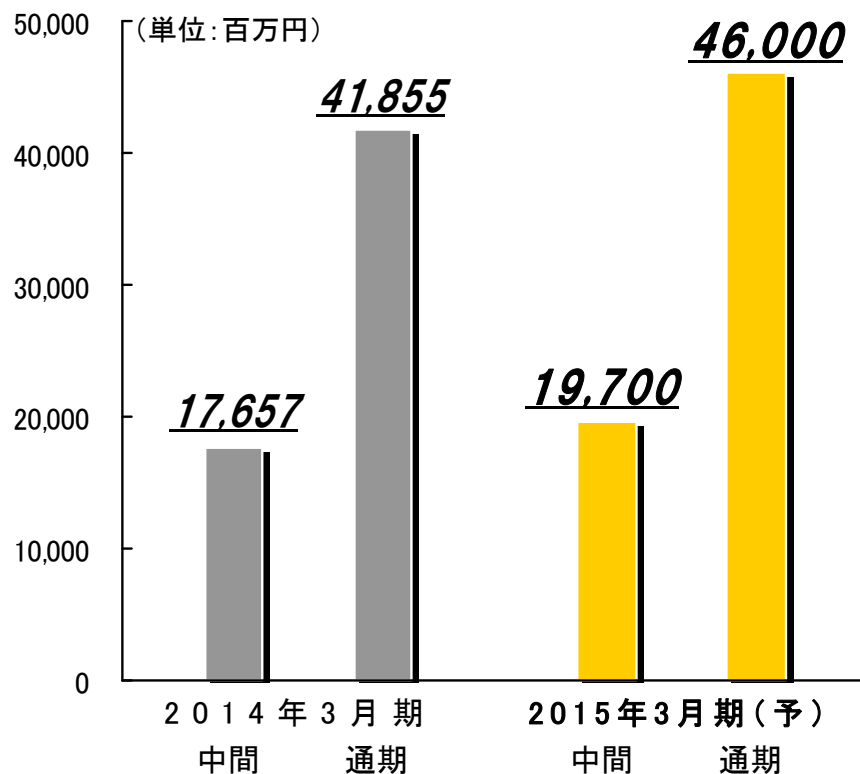
地域別
売上高構成比



**米州、アジアが業績をけん引し、過去最高の売上高へ
積極的なM&Aも視野に、業績の伸長見込む**

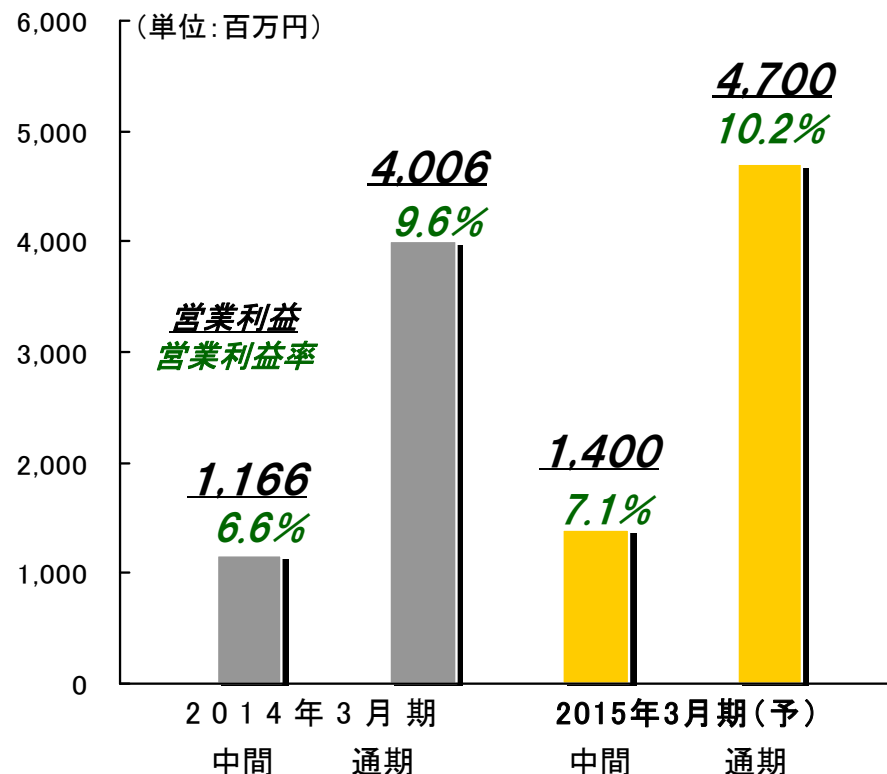
売上高

9.9%増 前期に続き最高売上へ



営業利益・営業利益率

17.3%増 営業利益率10.2%



2015年3月期 業績予想

EPS、ROEともに大幅改善

(単位：百万円)	2014/3期			2015/3期(E)		
		対売上	前期比		対売上	前期比
売上高	41,855	100.0%	17.9%	46,000	100.0%	9.9%
営業利益	4,006	9.6%	59.6%	4,700	10.2%	17.3%
経常利益	4,094	9.8%	67.7%	4,600	10.0%	12.4%
当期純利益	2,361	5.6%	130.8%	2,900	6.3%	22.8%
EPS	182.50円	-	130.8%	222.15円	-	22.8%
(10月1日株式分割実施後)				111.08円		
ROE	12.3%	-	-	≒13.0%	-	-
設備投資額	2,440	-	-	2,500	-	-
減価償却費	954	-	-	1,300	-	-

注 為替レート(2014/3期→2015/3期) : USD 100.2円→95.0円 CAD 95.1円→95.0円 EUR 134.4円→120.0円 RMB 15.9円→15.5円

注 EPSは、2014年7月23日公表 10月1日の普通株式1株2株の割合での株式分割を考慮した数値ではありませんので、ご注意ください

2015年3月期 第1四半期 決算報告

2015年3月期 見通し

中長期計画進捗状況

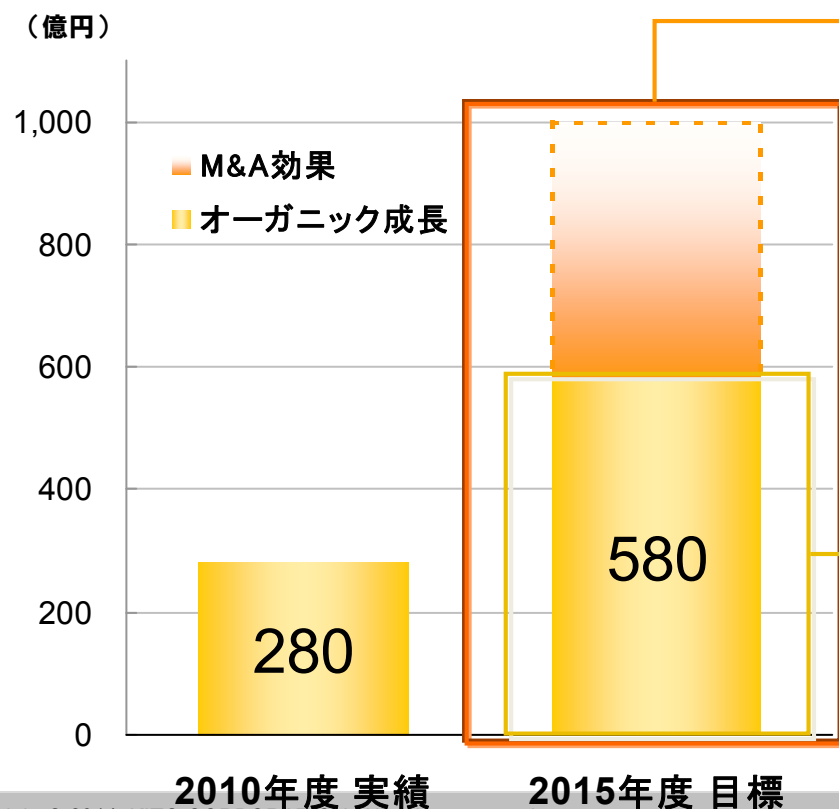
参考資料

中期経営計画(2011-2015)

中期目標

- 日本企業から真のグローバル企業へ
- グローバル売上1000億円企業となる

売上見込および目標



グローバル売上1,000億円企業となる

オーガニック成長の売上580億円に加え、積極的なM&Aによるさらなる拡大を進め、売上1000億円を超える企業となる

日本企業から真のグローバル企業へ

キトーがグローバルNo.1のホイストメーカーになるために、今後の5年間は事業規模拡大の大きなチャンスである。日本発の海外事業拡大から、世界各地のリソースを活用した事業拡大へと転換していく

- 成長続くアジアに経営資源を積極投資
- 製品戦略、生産戦略を着実に推進

＜アジアへの積極投資＞

タイ・韓国

クレーン新工場稼働で生産能力増強と
カスタマーサービスの充実



タイ ラヨン県
生産能力が2.5倍に



韓国 京畿道安城市
自社生産能力を獲得

インドネシア

新設した現地子会社の陣容整い、受注活動本格化

台湾

現地に合弁会社設立
既存事業の拡大とクレーンジビネスの展開へ

＜製品戦略 / 生産戦略＞

ロープホイストの拡販

米国・日本において積極的に営業活動展開
本格的な営業体制が始動



日本で発売開始した
RKシリーズ



米国子会社
Harrington Hoists, Inc.

グローバル生産

米国への生産移管、一部製品の地産地消を実現

